

2022-23年度RIテーマ
IMAGINE ROTARY
イマジン ローターリー



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	板場 英行	会計	土伏 英晴	直前会長	福本 博之
会長エレクト	宮本 和彦	副会計	野田 眞治	管理運営	久藤 孝仁
幹事	木村 安伸	S A A	宇都宮勝博	会員組織	堀越 賢二
副幹事	中川 康子	副S A A	三好 静子	奉仕	吉本きよ子

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com

例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 9月14日

次週のプログラム 10月6日

ガバナー公式訪問
(フォレストヒルズガーデン)

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

歓迎 石川 良興ガバナー公式訪問 (広島空港RC/竹原RC合同)

国際ロータリー第2710地区ガバナー	石川 良興様 (徳山RC)
随行幹事	福谷 正道様 (徳山RC)
G9ガバナー補佐	吉田 大造様 (尾道RC)
ガバナー補佐幹事	狩野 牧人様 (尾道RC)

スケジュール 11:30~12:00 会長幹事懇談会
12:30~13:30 例会
13:30~13:40 集合写真
13:40~15:10 フォーラム

【令和4年9月14日(水) / フォレストヒルズガーデン】

【2022年9月8日 第2748回例会記録】

□点 鐘

□ロータリーソング：それでこそロータリー

□4つのテスト：土伏英晴会員

□会員数：14名 (免除者：0名)

□出席者：13名 □欠席者：0名

□メイク：1名 □出席率：100%

幹事報告



【幹事 木村 安伸】

- ・ロータリーレート
9月1 \$139円
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム案内
- ・例会終了後定例理事会
- ・9/15, 9/22, 6/29休会

会長の時間



【会長 板場 英行】

9月上旬で、朝夕の凌ぎやすさに秋の気配を感じる現今ですが、日中の暑さは30度を超す真夏日で、未だ暑さ対策が必要な状況ですが、暑さに屈せずご健勝のことと思います。

新型コロナウイルスの感染状況、

8月の感染拡大からは少しずつ落ち着いてきていますが、なお予断を許さない状況です。国の方針は、総数把握や行動制限をせず経済振興を中心とした定常的国民生活の遂行で、いよいよ感染症分類二類から五類への移行が現実味を帯びてきました。先週のガバナー補佐プレ公式訪問、クラブアツセンブリー各位ご苦労様でした。次週はガバナー公式訪問です。10月の地区大会を含め、主要行事

が続きますが、会員各位のご理解、ご協力をお願いします。

本日の会長の時間は社会動向に関する内容です。円安、気象異常、新幹線をキーワードしてお話しします。円安の流れが止まりません。昨日は24年ぶりに1ドル144円台となり、株と国債価格下落を併せトリプル安の様相です。円安に並行して食料品を含めた日常生活物品の物価高が押し寄せている中、円安による今後さらなる高騰が予想され、生活への影響、家計の負担増が懸念されます。1ドル160円も予測される状況であり、政府・日銀の早急、的確な介入対策を期待したいところです。先月紹介しました世界の異常気象がとどまりません。パキスタンでは6月からのモンスーンに伴う大雨で平年の10倍以上の降雨量があり、インダス川が氾濫し広大な湖が出現するなど、国土の3分の1が水没、全人口の7人に一人に相当する3300万人が被災、1200人以上が死亡、146万戸の家屋が崩壊、5000キロ以上の道路遮断、243の橋が被害を受けたと報じられています。今後実態が明らかになれば、一国の存亡に関わる想像を超える甚大な被害が予測されます。中国は深刻な干ばつ被害が報道されています。重慶では大河長江が干し上がり、中国最大の淡水湖・鄱陽湖では“水中の楼閣”と言われる古代遺跡がむき出しになり、川の底にあった約600年前の仏像が姿を現したニュースが報じられています。その他、500年に一度の干ばつに直面するヨーロッパは、フランスでワイン製造に深刻な打撃が、ドイツではライン川の交通遮断による物流貯留など通常生活に加え経済面での深刻な影響が指摘されています。専門家は、「今年は偏西風が大きく蛇行したことによって、気温が高くなる地域と雨量が増える地域が“二極化”している」と指摘し、来年以降の気象異常への警告を発しています。

今月23日秋分の日には佐賀市を經由して福岡市と長崎市を結ぶ九州新幹線西九州ルート（武雄温泉-長崎）が部分開通します。広島ではあまり話題となっていないようですが、地元は開通に向けたお祝いムードに沸いているようです。現在、建設されている「整備新幹線」は、この九州新幹線西九州ルートを含め、北海道新幹線（新函館北斗-札幌）、北陸新幹線（金沢-敦賀）の3路線です。北海道新幹線は、青森市から函館市・小樽市付近を經由して札幌市に至る路線で、2016年3月に新青森-新函館北斗間が開業し、新函館北斗-札幌間が建設中で2030年度末の開業目標です。北陸新幹線は、金沢市から富山市・小浜市付近を經由して東京都と大阪市を結ぶ路線で、現在は金沢-敦賀間が建設中で2023年度末に東京-敦賀間の開業予定です。整備新幹線以外にも「基本計画路線」として、日

本全土に3030kmに及ぶ新幹線計画があります。その中には、リニア中央新幹線（品川-名古屋間2027年、名古屋-新大阪間2037年）、山陰新幹線（大阪-鳥取-松江-下関間）、中国横断新幹線（岡山-松江間）、四国新幹線（大阪-徳島-高松-松山-大分間）、四国横断新幹線（岡山-多度津-高知間）など11路線あります。一方で、地方の山間町村を結ぶ赤字路線は、廃線・代替手段の方針が示されています。短時間で目的地に行き来できる利便さとは否定しませんが、「狭い日本急いでどこに行く」という昭和のフレーズを思い出します。車窓から眺める日本の良き風情が褪せていくことに郷愁を感じる昔の鉄チャンです。

クラブ管理運営委員会担当例会

「日本人とDEI」



クラブ管理運営委員会
委員長 久藤 孝仁
DEIをお話しする前に、SDGsの事を少し触れます。SDGsは、目標が壮大すぎ、企業が行うSDGsには矛盾点が多いように感じます。SDGsに取り組むフリをすることを、「SDGsウォッシュ」と言われ、問題視されています。企業イメージだけで、SDGsを利用している例もあるようです。また、温暖化対策として取り組んでいる、エコバッグやマイボトルの持ち運び、プラスチックのストローを使用しないこと。これらの取り組みは環境に配慮したものでありますが、その行動の背後には大きな危険性があります。それは、これらの取り組みだけで温暖化対策ができてしまうと勘違いしてしまうことです。無限の経済成長を追い求める資本主義というシステム自体に今すぐにブレーキをかけない限り、気候変動を止めることは難しいのです。つまり、資本主義という根本原因をそのままにして気候変動を解決することは難しいというのが根本的な問題です。

また、女性参画にいたしましては、経済成長期は男性による力技の政治が機動的だったのかもしれない。しかし、女性が働くことが日常になり、様々な環境に生きる生活者への目配り、セーフティネットが求められる時代にあっては、社会の半数を占める女性のみならず、障害者、セクシャルマイノリティも含めた多様な視点が直接国の政策に反映されることで、働き方のデジタル化をはじめ、結果として日本のイノベーションや成長に繋がるの

また、女性参画にいたしましては、経済成長期は男性による力技の政治が機動的だったのかもしれない。しかし、女性が働くことが日常になり、様々な環境に生きる生活者への目配り、セーフティネットが求められる時代にあっては、社会の半数を占める女性のみならず、障害者、セクシャルマイノリティも含めた多様な視点が直接国の政策に反映されることで、働き方のデジタル化をはじめ、結果として日本のイノベーションや成長に繋がるの

ではないか。とも言われております。
以上の事を踏まえて、DEIを少し調べてみました。
RIにおける、DEIの主張と経緯は、2019年10月の
理事会において協議され、2020年6月の理事会
においてDEIに関する方針を決定し、声明を立案
しております。

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人々
が手を取り合って行動する世界を目指すグローバ
ルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、
民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、
文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あ
らゆる背景を持つ人の貢献を称える。

ロータリーは、少数派グループが会員およびリー
ダーとして参加できる機会が多く存在する、多様
で、公平で、開放的な文化を育む。

多様性、公平さ、開放性を最優先とすることは、
会員と職員を含む全員の責務である。

クラブとしては

*クラブの多様性調査を活用し、多様性と開放性
のための行動計画についてクラブで話し合う。

*多様性、公平さ、開放性について詳しい人を招
き、卓話をしてもらう。

*多様性、公平さ、開放性を推進する地元団体に
連絡し、一緒にプロジェクトやイベントを行う。

*「少数派」の会員に対し、クラブや地域でリー
ダー的役割を務めることを推奨し、サポートする。
等々、RIでは推奨されています。

多様性、公平さ、インクルージョンは、政治的な
問題ではありません。私たちは皆、尊厳と尊重を
もって扱われ、親睦と奉仕の平等な機会、そして、
発言する平等な機会を持つ権利が有ります。

グローバルな観点から、様々な提案がなされてい
ますが、我々の様な田舎、環境では、単一民族、
肌の色もおおむね一緒である、宗教的にもほぼ同
一で、日本の葬儀の94%は仏教で行われている
ようです。

だからと言って、無関心ではいけません、性的指
向、障害、年齢、異なる価値観、社会経済的立場、
等々、すべての人が、目に見える、または目に見
えない本質的に独自の資質を備えています。自分
が大切にされているとすべての人が感じるような
開放性、包括性を築く文化を推奨しなければなり
ません。いわゆる、「違いを認め、公平に、お互
いを尊重し、敬意を払わなければならない。」そ
れは、言い方は違えども、今までもロータリーの
行動規範等で、うたわれていました。

これまで国連提案で言われてきたSDGsは今後と
も継続することに意味が有ります、しかし、それ
を踏まえてロータリークラブでは「DEI」という
言葉が、今後、企業や民間で大きく取りざたされ
てくるでしょう。しかし、日本文化の中で根付き

にくい部分も有ります。

年齢の面で言えば、我々は、「儒教」的な教えの
「長幼の序」をよしとしています。先輩後輩の言
葉遣い、良い所は残しつつ、「尊敬、認め合う」
所は考えなければならない面も有ります。障害者、
高齢者についても（ひとくくり出来るものでは
ありませんが）尊厳や尊重することを、もう少し
意識しなければいけないように感じます。

Equality平等とEquity公平は、似てはいますが、微
妙に違います。

Equalityは、すべての人に同じ高さの踏み台を与
えることに對し、Equityは、すべての人の頭の高
さを同じにする踏み台を与えることです。

ダイバシティ=違いを認め多様な存在を尊重する
イクイティ=公平な平等

インクルージョン=開放性、包括性、すべての人
を對象として受け入れる（実践的に）受け入れる
事

難しいようで、真意は、日本語で言う、「思いや
り」「尊厳の尊重」「公平」を世界の中の基準に
置き換えて、受け入れて、行動することではない
でしょうか。

今の世界経済の中、日本人がとか、年功序列とか、
健常者だけの男社会、ではなく、今こそDEIの考
え方、行動が経済だけではなく、奉仕の世界にお
いてもグローバルスタンダードにならなければなら
ないポリシー（原則、方針）だと思えます。

当然の様で、まだまだ考え方や行動を是正しなけ
ればならない社会があります。

DEIを文化に、と言われていますが、文化とは、
歴史的習慣の相称のように思われがちですが、社
会を構成する人々によって習得、共有、伝承され
る行動様式であり、生活様式で有ります。言い換
えれば、「DEIを生活様式に」です。

皆さん、マイノリティーになった経験が有ります
か？

日本語社会では、あまり経験しません。小さい
環境の中ではいかがでしょうか？

当事者にしかわからない課題をシェアし、議論す
る。そうすることで、リアルな課題が表面化する。

14人のグループで、同調性の圧力がはたらいて
いますか？どうでしょう？お互いを認め合い、尊
重する中で、当事者しかわからない課題を、話し
合い、課題にするのも、DEIの精神ではないでしょ
うか？